

都留市防災ラジオの販売について

防災行政無線の放送内容を家の中で聞き取れる防災ラジオを市が購入し、その約4分の1の価格(1台2,000円)で市民の皆様にご提供します。

申込方法 防災ラジオの購入を希望される場合は、行政管理課法制・安全室までご連絡をお願いします。なお、数に限りがありますので、予定数量を超える申し込みがあった場合は、申し込みの受け付けを終了させていただきます。

※既に自治会の回覧を通じて注文されている世帯は、対象外となります。

注意点 防災行政無線の電波は、市役所の屋上から発信していますので、防災ラジオで受信できる環境は、地域や建物の配置などの状況によって異なります。(FM用外部アンテナの接続が可能です。)

○3つの機能

防災行政無線の受信機

防災行政無線の放送を自動で受信します。

※ AM/FM ラジオを聞いていても、防災行政無線の電波を受信すると強制的に切り替わります。

AM/FMラジオ

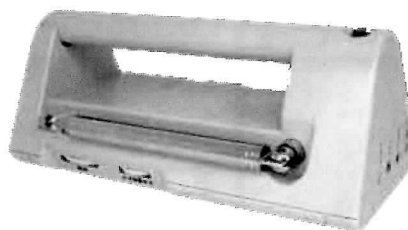
AM/FMラジオを聞くことができます。

ライト(照明)

非常時に携帯用ライトとして使用できます。

○提供価格

1台2,000円



持ち運びに便利な大型取っ手付き

問合せ先 行政管理課 法制・安全室

水道の災害対策

地震・台風などの災害は、いつ起こるかわかりません。災害時にもっとも大切なのは飲料水の確保です。そこで、水資源活用課では、皆様の飲料水が確保できるよう日ごろから施設の点検や、耐震化への整備を進めています。

配水池緊急遮断設備

地震などの災害で配水管が破損すると、配水池から大量の水が流出し、飲料水の不足または流出した水による2次災害が発生する可能性があります。このような事態を防止するため、大地震などにより配水池の流量計が過度な流量を感知すると、自動的に緊急遮断弁が閉じ、飲料水を確保する装置を主要施設に設置しています。

応急給水活動

災害時における応急給水用資機材として、6リットル用の非常飲料水用ポリ袋を常備しています。また、積載型(トラックの荷台に給水タンクを積んだもの)の給水タンク車があり、災害時においても迅速に飲料水の供給ができます。また、平常時には水道工事に伴う断水の際にも活躍しています。

家庭での飲料水確保

人間が生命を維持するために必要な水の量は「成人で1日3リットル」と言われています。一人ひとりの水の確保が大切ですので、万一に備え飲料水の「くみ置き」を用意しておきましょう。「くみ置き」は、清潔でフタのできる容器に空気が残らないよう口元いっぱいまで入れ、日の当たらない涼しい場所で保管してください。

○保存期間の目安

- ・日の当たらない涼しい場所の場合 夏期は3日間 冬期は5日間
- ・冷蔵庫の場合 1週間

保存期間の目安を参考にして、こまめに水を交換してください。

保存期間は、保管場所や水温、容器の材質や洗浄状態によって異なります。あくまでも目安ですので、なるべく早く飲用してください。

問合せ先 水資源活用課 工務担当・業務担当・簡水担当

